

こんにちは
市議会の会派広報を
さち茂人が
お届けいたします。



静岡市議会 自由民主党 静岡市議団 会派広報

発行：自由民主党静岡市議団広報担当

第3号

さち茂人(34歳) 駿河区八幡在住

家族構成：自分、妻、長女、長男、次女、次男、三男の元気いっぱい7人家族。

『この静岡大好き!!』でがんばります。

平成18年度当初予算が採択されました。 私達は、特色のあるまち・静岡市を創造します!!



各地域から選出している議員が多い会派であり、自民党市議団は静岡市全体の諸問題に積極的に取り組んでいく政策集団であると同様に地域の特色を尊重し、課題克服にも努めています。身近に感じていただける会派を目指します。

私たちは皆様の要望を「かたち」として具体化していきます。

18年度の具体化した予算につきましては子育て支援として「集いの広場事業」スクールカウンセリング事業の拡大私立幼稚園助成と私立保育所支援小規模授産所の補助拡大公園整備への事業増加道路予算のわく単確保(生活道路含む)通学路の安全確保、交通安全整備南アルプスの世界自然遺産への登録に向けて庁内検討協議会が組織化されたなどです。

平成18年度当初予算 自由民主党市議団代表質問

政務調査会長 佐地茂人

平成17年度、会派で取り組んできた活動の総括を中心に、自分が興味のある分野においては丁寧に質問を行いました。始めに、「政令指定都市・静岡」を市長に質問をし、今後の静岡市と特徴のある静岡市についてご答弁を頂きました。若者たちに希望が持てるまち、自然と地域性を生かしたまち、文化・歴史薫る生涯いきいき生活できるまちを長期的に創り、短期的には子育て支援と都心部の活性化、安心・安全・快適に暮らせるまちについてを3本柱とし、事業に特化した予算付けが平成18年度予算編成です。

他の主な項目については、内面をお読み下さい。

会派グループ視察を行いました。

緊急な課題である、「歩きタバコ禁止条例」と「東海地震政策」では、他市の経験から良い所を学び実践します。中・長期的な「南アルプス世界自然遺産」と「中心市街地活性化(まちづくり三法)」では静岡市の特色を出す方法として、継続し、可能性を見い出していきます。

なぜ、グループ視察か？

今までは一人一人が興味のあることを調査してきましたが、なかなか政策実現に至らない。そこでいくつかの課題について意識を共有し、会派としての意見をまとめあげ政策提言をする事を目的に行います。

視察先：水戸市、加美町(宮城県)



近藤 光男 千代 公夫
井上 恒彌 亀澤 敏之

1月16日・17日
まちづくり条例と大型店進出状況について調査して参りました。

視察先：広島市



深澤 陽一 青木 一男
城内 里 遠藤 裕孝

1月23日・24日
〔仮称〕歩きタバコ禁止条例の制定に向けて広島市の「ポイ捨て等の防止に関する条例」について調査して参りました。

視察先：上越市、長岡市



増田 進 石川 久雄 石上 顕太郎
佐地 茂人 牧田 博之

2月6日・7日
東海地震への対応策として中越地震振興対応状況を調査して参りました。

視察先：屋久島



繁田 和三 剣持 邦昭
増田 進 田形 清信

2月28日～3月2日
世界自然遺産登録への取り組みを調査して参りました。

編集後記

政令市に移行して1年が経ちました。本市では行財政改革を進める一方、駅や中心街を核とした政令市らしい都市拠点の整備を実施しております。昨年度から道路などが管理する公共施設も増え、今までとは違った総合的なまちづくりが出来るようになりましたが、その分責任も大きくなりました。わが会派でも、1年を通じ、グループ分けをしての視察や新しい施策に関する勉強会を頻りに行い、また南アルプスを世界自然遺産にしようという一致団結した活動は南アルプス市まで巻き込み、今後大きなうねりになると感じます。当選回数関係なく、どんな意見に対しても一生懸命議論を交わす様子は新人にとっても意欲の湧く環境です。これからもわが会派にご期待ください

<発行責任者>

自由民主党静岡市議団広報担当 佐地・亀澤・深澤
〒420-0853 静岡市葵区追手町5番1号 054-254-2111(内線4511)

講演会のお知らせ

来たる3月28日に南アルプスの魅力について講演会を行います。参加は自由ですので是非ご参加下さい。

講演：「素晴らしい南アルプス
その輝きと価値」

講師：南アルプス芦安山岳館
館長 塩沢 久仙氏

日時：3月28日 午後1時から
場所：静岡市役所第2委員会室

平成18年度当初予算市議会2月定例会で質問を行いました。



平成18年度当初予算
自由民主党市議団代表質問

駿河区2期
佐地 茂人 議員

数多くの質問を行ったので、時間に追われたこと、勉強量が大量だったこと・・・良い経験をさせて頂きました。

こだわった所は、「子育て支援策」に対する質問で市長からは「感受性の豊かな子供が多く成長するよう、お父さん、お母さんを応援していきたい。」旨のご答弁を頂きました。

そして、以下の5項目について質問しました。

児童クラブでは3カ年で39箇所整備するが、今必要としている保護者の気持ちや対象学年と今後についてを聞きました。

保育所入所については急激に必要としている地区に対応した定員拡大と途中入所への対応を聞きました。

新たな事業の取り組みとして、会派で要望していた「集いの広場事業」の準備状況。

会派の勉強会で取り上げた、「スクールカウンセリング事業の拡大」では中学生だけでなく小学生にも対応できるようにします。

母子家庭等の自立支援として就業支援を行います。これはすべてのお母さんに必要であることを述べました。

その他の主な質問は以下のとおりです。

- * 人口減少、地域経済と産業構造の変化
- * 歳出の削減、人事評価システム、特殊勤務手当の見直し
- * ことぶき乗車券の見直しと保育所の民営化
- * 都心部の活性化と有効な道路行政
- * 企業立地助成で定住人口の増加
- * 地震と風水害への対策
- * 登下校時の子供被害対策
- * 日本平山頂整備と都市・街路（身近な）公園の整備
- * 歩きたばこ禁止条例
- * 介護保険制度の見直しによる対応について
- * 老人クラブの支援
- * 美和地区複合施設、市立美術館、など新規事業について
- * 給食センターの整備

今回の予算編成では自民党市議団の「18年度予算要望について」も多く組み込んでいただいたのではないかと思います。

平成18年度も自民党市議団の活動にご期待下さい。



遠藤 裕孝 議員
清水区 2期

「小島陣屋跡の保存について」 国指定文化財申請についての進捗はどうなっているかの質問をしたところ、江戸時代の小島藩主である松平氏の本拠地で、その跡地は保存状態も大変良く、御殿が残る全国唯一の陣屋跡である。文化財の価値も高まっており、文化庁との協議と指導を受け、地権者の国への史跡指定の同意を得て手続きを行った。市の総合計画の中で整備について検討していきたい。との答えをいただきました。また「興津川にかかる保水力の確保、維持、豊かな森林の確保」の考え方を伺いました。



繁田 和三 議員
葵区 1期

「特色ある教育行政について」と「山間地の幹線道路整備」のほか「静岡型政令市」と「三位一体改革と予算編成」の4項目について当局の考え方を伺いました。なかでも「中山間地における複式学級の解消について」は、子どもたちの学ぶ権利を保障するために保護者からの強い要望のもと、教育の機会均等や一定水準の確保など都市部の学校との差を解消するため、本年4月から賤機北小、大河内小、玉川小、水見色小、清水穴原小の5校に非常勤講師が配置されることとなります。これは、政令市として全国初の試みとなり市民からも注目されています。



千代 公夫 議員
葵区 3期

1 国道362号整備
国一バイパスが10年後には完成する。羽鳥インターまでの整備は、これに合わせないと大変なことになる。用地国債など使い早期に実現を！

2 清流条例制定
政令市静岡の特徴は、安倍・藁科川と興津川の良質な水にある。後世に渡り水源を保全すると共に、市民に愛される川として努力を！

3 お茶の振興
14政令市の中で、一次産業の占める割合が静岡は多い。特にお茶は日本一、ぜひ世界の静岡へ情報発信して欲しい。茶畑中心に耕作放棄地が増しているが、後継者対策などしっかりとした政策を実行していくべきだ。



城内里 議員
駿河区 4期

1 政令指定都市静岡の教育づくり
(1) 子どもたちの道徳心や公共心をどのように育てるか。昨今問題となっている青少年の殺傷事件等の背景にある子どもたちの心の問題にどのように対応しようとしているのか。

(2) 子どもたちの学力低下の問題にどのように対応しようとしているのか。

(3) 教職員の資質向上を図るためにどのような具体策を講じているのか、また今後どのような考えがあるのか。

(4) 静岡市の民間人材の活用状況はどうなっているのか、また学生ボランティア等若い人材を育成し、教員になる支援指導については今後どのように考えているのか。

2 次世代への環境問題について
(1) 静岡市科学館における取り組みについて
次世代への環境問題に関するこれまでの取り組み状況はどうなっているのか。
今後の取り組みについてどのように考えているのか。



亀澤 敏之 議員
駿河区 1期

本市における防犯・防災の充実について。
最近、市内において、小・中学校に対して不審な声かけ、わいせつ行為が多発しています。他市では、尊い命を奪われている事件も発生しています。市としての犯罪の防止と防犯意識の向上について当局に伺いました。又、近い将来来るといわれている「東海地震」に対して、中越地震から学んだ問題点、各種団体、自主防災会等の、組織と位置づけについて、当局に伺いました。



近藤 光男 議員
駿河区 6期

徳川家康公駿府城入城四〇〇年祭事業について
「家康公を学び、想いを感じ、新たな都市づくりをスタートする」この事業は素晴らしいことであり市民の力を借りて政令市静岡の存在を国内外にアピールしてほしい。
南アルプス世界自然遺産への取組みについて
南アルプスは富士山に次ぐ日本第二位の高峰「北岳」をはじめ3千メートル級の山十三座を有し、その内十座が静岡市に有る。この地にしかない「キタダケソウ」を始め、南アルプスはハイマツや天然記念物のライチョウの生息地が世界の最南限である。世界自然遺産登録に向けて、自然環境の保全に努力をしていこう。



田形 清信 議員
駿河区 3期

浸水対策について
(1) 麻機遊水池事業について
進捗状況はどのようになっているか
一日も早い完成が待たれるが全体の完成予定は41ヶ所の工事予定は
(2) 浸水対策推進プランについて
1期、2期、H27年以降と分けた理由は
都市計画決定された土地（道路・公園）について
(1) 都市計画決定の手続きについて
決定に当たり住民の意見は
都市計画決定後、永年未着手の箇所の見直しは考えていないか。

安倍川駅周辺整備事業について
(1) 安倍川駅周辺をどの様な位置づけで整備するのか
駅舎、駅前広場について、どの様な整備を考えているのか
駐輪場対策はどうなっているか
バス乗降場、タクシールール、区役所までのバス路線は



深澤 陽一 議員
清水区 1期

小児慢性疾患や障がいのある幼児・児童が希望する保育施設・教育施設に通えるようにするにはどうしたらいいのか。その中でも今回は、ちょっとした医療的サポートがあれば入園・通学が出来るはずの喉頭軟化症、小児 型糖尿病について質問と提案をしました。実際に教育委員会に相談しても、受け入れの対応を築くのに非常に困難を伴い、実現に至っていない現状で、事前に準備をすること、たらい回しにしないように窓口を明確にすること、出来るだけ子どもや親の希望通り受け入れられるよう、十分検討をいただくことを主張しました。